

菊花展出品を目指したダルマ・福助作りの実践講座（第4回）

この夏は、お盆以降涼しかったので例年通りに蕾が付いていると思われますが、皆さんの菊の調子はいかがでしょう。

これから朝晩が涼しく、更に菊の成長しやすい環境になりますが、しっかりとBナインをかけないと急に草丈が伸びすぎてしまいます。

さて、第4回目は、審査規定の確認、つぼみの処理の仕方、害虫防除についてです。

1 審査規定

湯島天神菊花展に出品して審査を受けるために必要な項目です。

（1）草 丈

ダルマ（鉢底から天の花首まで60cm以下）

福 助（鉢底から花首まで40cm以下）

花首までの高さですので注意してください。

福助は、花首の伸びが止まる10月10日ごろまでに花首を38cm以内に仕上げることを目標にしてください。現時点で35cmを超えている場合は、福助仕立てをあきらめて、6号鉢に植え替えてコケン作り（花首まで55cm）に変更しましょう。

今現在35cm位の場合は、蕾の取った後にビーナイン300倍を塗りこみ、また、茎にもたっぷり散布し、強引に成長を止めましょう。

（2）菊 鉢

ダルマ 7号鉢、福助 5号鉢（材質は問わないが菊専用の鉢であること）

黒いプラスチックの菊鉢、素焼き鉢でもOKです。

（3）10月31日までに出品

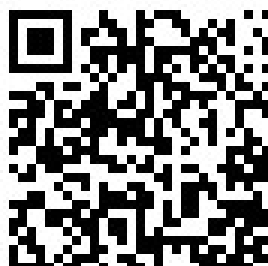
出品したら出品票の半券を必ず菊花会事務所の責任者に渡すことが必要です。

31日までに出品していても、出品票の半券を責任者に渡さない限り審査対象となりませんので、注意してください。

出品票は、事前に地区長と調整して受け渡すものとしますが、来月の講習会でもお渡しできます。

審査規程は、公式ホームページに掲載しております。

今年から3枝の曲げ方についても決まりましたので確認してください。



審査規定



審査規定細目

2 害虫防除

出品にあたって注意しなければいけないことは、病虫害が付いた菊を会場に持ってこないことです。見た目の汚さの他に、他人の菊に伝染させて迷惑をかけてしまうことは絶対に避けなければなりません。

(1) アブラムシ、毛虫対策

手軽に済ませたいならホームセンターで売っているスプレータイプの殺虫剤（ベニカスプレーなど）をメインに、株元に浸透移行性剤（オルトラン粒剤など）をまけば、簡単に防除できます。週一回はスプレーをかけて、蕾から花が見える直前まで予防的な防除を心がけます。

ホームセンターで売っているもの

ベニカX、モスピラン、スミチオン、マラソン、スミソン、
オルトラン粒剤、オンコル粒剤、ベストガード粒剤

(2) ハダニ対策

絶対に繁殖させてはいけません。開花し花に入ったら殺すことは、不可能です。薬害抵抗性があり、一度使った農薬で生き残ったハダニは、2回目に同じ薬は効きづらいので、薬剤は少なくとも2種類を用意し、順番に週一回散布し蕾から花が見える10月6日の直前には、3回ほど集中的に防除する。

ちなみに、アブラムシ用とハダニ用の農薬は混合して散布することが可能です。

ホームセンターで売っているもの

コロマイト、バロックフロアブル、テルスタースプレー、ダニ太郎

4 今後の管理

今後の管理スケジュール案

9月11日 液肥1000倍灌水

Bナイン300倍（福助）、600倍（ダルマ）

9月13日 液肥1000倍灌水

9月15日 液肥1000倍灌水（これ以降、肥料の追い込みは終了）

9月16日 増し土（5mm厚程度）、ミズゴケをかけて上根を保護するとよい。
PKマグを溶かした水を灌水する。

9月30日 増し土（5mm厚程度）、ミズゴケをかけて上根を保護するとよい。
PKマグを溶かした水を灌水する。

10月2日 第5回講習会です。出品札をお渡しできます。

- ・水切れに注意してください。毎日タップリ水をあげましょう。
- ・これからの時期は、開花するために重要な『上根』が成長します。この根を保護するため、表土にミズゴケを薄く敷くと、上根が地表に出てきます。
- ・蕾が伸びるようならば、適宜Bナインを茎に塗り込むように散布する。